



農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

Science and technology research promotion program for agriculture, forestry, fisheries and food industry

研究紹介 2016



はじめに

農林水産・食品分野の成長産業化及び地域の活性化に貢献するため、農林水産省では平成25年度から分野横断的に民間企業等の研究勢力を呼び込んだ形で、国内の研究勢力の結集や人材交流の活性化を図るとともに、革新的な技術の開発を基礎研究から実用化研究まで継ぎ目なく（シームレスに）支援し、ブレークスルーとなる技術を効果的・効率的に開発しています。

平成26年度からは新たに、「攻めの農林水産業」において、重点課題に位置づけられている「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」（平成25年12月11日攻めの農林水産業推進本部決定）を踏まえ、実需者等のニーズを的確に反映させ、農産物の「強み」を生み出す品種育成を推進しています。

今年度は、イノベーション創出基礎的研究推進事業から移管された課題を含め92課題が終了しており、その中でも、

- コメ産業の国際化を狙った新規ハイブリッドライス育種基盤の開発
- 施設園芸害虫アブラムシに対する基盤的防除のための次世代型バンカー資材キットの開発
- 革新的接ぎ木法によるナス科野菜の複合土壌病害総合防除技術の開発
- 国産赤身型牛肉である乳用種牛肉の輸入牛肉に対する差別化技術の開発
- 関東甲信越地域の気象資源とソルガム新品種を活用した省力多収飼料作物栽培技術の開発
- 大規模崩壊発生時の緊急調査技術の開発
- 震災後の常磐周辺海域における底魚資源管理技術の開発

など、優良な研究成果が創出されています。他にも多数の成果が創出されており、それらの研究成果を紹介します。

本書が農林水産業の生産現場等で直面している問題の解決や地域産業の振興等の様々な分野で活用されることを期待しております。

平成28年5月

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室長